

を思い出しますがこの頃の世の中はすいぶん変ったものだと思う。

毎日の新聞・テレビを見てもひつたり、強盗殺人等いつどこで何が起るかわからない物騒な現在である。

物は豊かになり便利な世の中になつたけれども、その反面自己中心的な我儘な考え方が多くなり何となく落ち着かないこの頃であ

り、たまには縁側でのんびりと日向ぼっこでもしてみたいと思つてもなかなか出来ない雜音の多いこの頃である。

この騒々しい中にあって人の為、みんなの為になる日々を精進しようと思う。

私は、日頃行事の会合等で皆で唱和する蒲郡市民憲章の最初の言葉「はい」「ありがとう」「すみません」と言う句が好きであり、素晴らしい言葉だと思う。

いつどこでも素直に「はい」と言える人は案外少ないのでないでしょか、年令を重ねるに従つて童心に帰り素直になろう。

「ありがとう」と言うのは感謝の心を表わす言葉で世の中の万物万象すべて造化の神様が創造し、現在も休みなく育んでおられる宇

宙自然界その中に目的をもつて生きされているのが人と言う。

人は、想像する知恵は与えられ

ているが物質を創成する知恵は与えられていない。

素晴らしい宇宙の中の地球という星に生活できる事に素直に感謝して汚さないよう、壊さないよう努力すべきである。

「すみません」と言うのは謙虚な心を表す言葉で「実る程頭を垂る稲穂かな」どんなに勝れた知識才能ある人でも自分でその価値は決められない。

裁きは、人の権限外であるすべての物事に表と裏があるよう人に心もまた然り。

陽か隠か、正か邪か、感謝か愚痴不満か、与えるか求めるか、大勢の友達と毎日元気に楽しく生きたいと思う。

## 台湾の恵美さん

竹友会 鈴木 新蔵

恵美さんは、戦時中台湾での教職時代に教えた子供の一人である。今は七十一才。

ついこの間、十一月二日の朝に突

然彼女から電話が入った。「今、新幹線の中から電話をしています。今晚先生の宅へお邪魔したいが」、夕刻八時半、蒲郡駅で彼女夫婦を迎え、少し寒い一日でもあつたので、早速家に着くと炬燵を囲んで台湾話に話を過ごした。

○外省人（中国大陆の人）が多くなった。

日本統治時代は島民六百万といわれていたが今は二千万を越していると言う、中でも外省人がことのほか多くなった。戦後、蒋介石の率いる国民党政府の党員、軍隊、台湾企業の中国大陸への進出に伴つて、嫁を大陸から連れてくる連

中、中国の女を二号に娶って子供と共に入国する連中、金儲け目当てに入ってきた外省人も多いと言う。

○日本語ブーム 復帰後、蒋介石の日本語、台湾語使用禁止の抑圧

が続いたが、今では日本語学校、日本語塾が目立つようになり、幼稚園児から通学させている家庭も多いという。また外省人が台湾語の勉強をするという逆な光景も見られるようになつた。

○カラオケ、パチンコの熱狂的ファンが多い。新しい店の開店を始める、「卡」カラオケ、「彈球」パ

チソコという新しい漢字も生まれてきた。

○味噌汁、寿司、刺身。今まで台湾人の食卓になかった日本の食材が家庭に入り日本食ファンが多くなっている。

○十月は祝日の多い月

双十節十月十日（中国民主主義革命の父孫文に感謝する日）、光復節十月二十五日（台湾復帰の日）、建國記念節十月三十日（蒋介石による国民党政府樹立の日）。

○近く日本企業による台湾新幹線が着工されると、日本寄りの話題の多い台湾の近況によろこびなつかしんだ一夜であつた。

## 健康と活気づくり

東部親和会 鈴木 俊悦

私達東部親和会の健康と活気づくり活動の内容をご紹介します。

これは、会員の中から自主的にあえて、最初は三日坊主かと思つたが、さすが熟年生、根性がある。まあ一ボツボツ飽きて練習も来ないかなあなんて自分勝手な想像